

宮

崎学園短期大学は、令和7年10月に創立60周年を迎え、新たな一歩を踏み出しました。記念式典ならびにシンポジウムを無事に開催することができましたこと、そして記念誌の発刊にあたり、多くの卒業生の皆さまに温かい寄稿を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。誌面に綴られた一つひとつの言葉から、本学とともに重ねてこられた歳月の尊さと、母校を見守ってくださる温かなまなざしを感じることができました。

日頃より本学を支え、見守ってくださっております同窓会しのぶ会会長の廣池様をはじめ、多くの卒業生の皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。

60年の歴史を刻んできた保育科では、3年課程（長期履修制度）を設け、学びの選択肢が広がりました。2年課程と3年課程の学生たちが、それぞれの目標に向かって励まし合いながら成長しています。また、8コースを擁する現代ビジネス科では、コースの枠を越えて学びを組み合わせることで、多様化する社会のニーズに応える力を育てています。

本学は、まもなく宮崎県内唯一の短期大学となります。地域に根ざした学びの場としての使命を改めて胸に刻み、これからも信頼される教育を実践してまいります。

専攻科（福祉専攻）は、本年3月をもって、28年の歴史に幕を下ろします。本年の修了生を合わせ、1,008名の介護福祉士を輩出できたのは、介護実習施設の皆さまをはじめ、熱心にご指導くださった先生方のお力添えの賜物です。心から感謝申し上げます。修了生の皆さんが、本学で大切にしてきた「一人ひとりの尊厳を大切にす

る」という思いを胸に、ますます活躍されますことを心より期待申し上げます。

これからも本学は、地域とともに歩み、「自ら考え、行動でき、生涯にわたって学び続ける力」を備えた学生の育成に努めてまいります。建学の精神「礼節・勤労」のもと、人としての成長を何よりも大切にし、最後までやり遂げる力を育てまいります。

教育・保育・福祉・ビジネス・医療・図書館など、さまざまな分野でご活躍のしのぶ会の皆さまの、今後ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今後とも変わらぬご支援とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。



学長 山下 恵子

宮崎学園短期大学 創立60周年記念

「記念式典」「記念祝賀会」を開催

令和7(2025)年10月10日清武文化会館において、宮崎学園短期大学創立60周年記念式典を挙行了いたしました。

式典には来賓の方々や旧教職員など多数ご臨席をいただき、山下恵子学長の式辞に続き、宮崎県知事河野俊嗣氏、宮崎市長清山知憲氏よりご祝辞を賜りました。

記念式典の閉会後は、ニューウェルシティ宮崎にて記念祝賀会が開催されました。

山下学長の挨拶の後、宮崎県商工会議所

連合会会頭米良充典氏、本学名誉教授宗和太郎先生の祝辞に続き、本学同窓会しのぶ会会長廣池直美氏の乾杯の発声で和やかに開宴しました。

乾杯に続き、OB・OG合唱団による合唱も披露されました。有川サチ子先生が指揮をとられ、心温まる歌声で会場を包みました。

和やかで温かな時間の中、節目をともに祝うひとときとなり、ご臨席くださった皆様に改めて深く感謝申し上げます。



記念式典



▲山下恵子学長



▲宮崎県知事 河野俊嗣氏



▲宮崎市長 清山知憲氏

記念祝賀会



▲宮崎県商工会議所連合会
会頭 米良充典氏



▲名誉教授 宗和太郎先生



▲同窓会しのぶ会
会長 廣池直美氏



▲有川サチ子先生



▲OB・OG合唱団



パネルディスカッションを開催

令和7(2025)年10月10日清武文化会館にて、60周年記念式典の特別企画として、地域の第一線でご活躍されている3名の方を学外からパネリストにお迎えし、「これからの時代 若者に期待すること」をテーマに本学学生とのパネルディスカッションを行いました。

パネリストは学外より宮崎日日新聞社代表取締役社長見山輝朗氏、宮崎太陽銀行頭取黒木浩氏、うちやま幼保連携型認定こども園園長橋口隆子氏、本学学生は現代ビジネス科2年小林花代、保育科2年市村美知の5名で、コーディネーターは本学学生部長・教授木村匡登です。

ディスカッションでは、これからの社会において若者がどのように夢を持ち、やりがいを感じながら人生を歩んでいくべきかについて議論されました。

学外パネリストの皆様からは、現場でのご経験に基づいた力強いメッセージをいただき、学生パネリストからは、将来への不安や希望、自分らしく社会に貢献したいという思いが語られました。

本企画が、会場に集まった学生をはじめ、これからの時代を担う若者にとって、自らの未来を描くヒントとなり、社会の一員としての自覚と希望を育むきっかけとなることを願っております。



▲宮崎日日新聞社
代表取締役社長
見山輝朗氏



▲宮崎太陽銀行
頭取 黒木浩氏



▲うちやま幼保連携型
認定こども園
園長 橋口隆子氏





▲ 学生部長・教授
木村匡登



▲ 保育科2年 市村美知



▲ 現代ビジネス科2年
小林花代



保育科の一年間の取り組み

MESSAGE

地域のために、地域とともに



保育科学科長
井上 浩義

平

成10(1998)年から続く、専攻科(福祉専攻)につきましては、今年度をもって28年の歴史に幕を下ろし、廃止となりました。専攻科は、これまで介護福祉士を多数輩出し、宮崎県内の介護・福祉の分野の発展に貢献してまいりました。これまで専攻科(福祉専攻)の教育にかかわってくださった多くの方に、厚く御礼申し上げます。全国的に短期大学は冬の時代となり、各地で募

集停止となる養成校が続出しています。そのような厳しい時代にあっても、地域の保育・福祉を支えるエッセンシャルワーカーを輩出する本学保育科は、今年度180名の入学定員を充足することができました。

このように、今年度は一つの時代が終わりを迎える一方で、新しい取り組みも次々とスタートしていきました。なかでも、学生のキャリア意識の形成を目的とした科目「キャリアガイダンス」の新設と、保育関係3団体(宮崎県保育連盟連合会、宮崎県幼稚園連合会、全国認定こども園協会宮崎県支部)の連携協定に基づく取り組みの具現化については、今年度大きく進めることができました。それらの取り組みについては、この後の記事をご参照ください。

本学保育科の使命は、どのような時代背景であったとしても、質の高い保育を提供できる保育者を育成し、地域に還元していくことだと考えています。「地域の学生たちを、地域

とともに育て、地域にお戻りする」この取り組みに対し、県をはじめとした行政からも賛同いただいております。現在県や宮崎県保育士・保育所支援センターとの協議を開き、情報共有を図るなどの取り組みも始まっています。

保育者という仕事は、子どもたちを保育・育成していくことにより、「未来をつくる」仕事であるとも言えます。かかわっていく子どもたちの中に、将来の総理大臣やノーベル賞学者がいて、「自分の原点が幼児期ある」と言ってくれるかもしれません。そのためには、質の高い保育を提供できる専門性とプロフェッショナル意識を有する保育者が必要です。学生たちには、本学において学び方をしっかりと理解したうえで、卒業後に働いていく中であっても、知識と技術の引き出しを増やしていくとともに、学び続ける姿勢を大事にしてほしいと考えています。



REPORT

保育科の新しい取り組み—キャリアガイダンス—

今

年度より、保育科1年生では「キャリアガイダンス」という科目が新設されました。学生のキャリア意識の形成は、社会においても強く求められているものであり、この科目での学びを通して、保育に限らず、自分自身の人生のキャリアをしっかりと見据えて、今後の学生生活を送ってくれるように期待しています。その学びの中から、以下の2つの学びを紹介します。

●先輩からのメッセージ

12/12、12/19、1/9の3回にわたり「先輩からのメッセージ」を開催しました。今回は、施設・幼稚園・認定こども園に就職された先輩方の中から、1年目の新人の立場で3名、7～10年目の中堅の立場で3名の先輩方にご講演いただきました。

先輩方からは、それぞれの立場から、「働き甲斐について」「学生時代に学ぶべきこと」「実習生に求めること」「就職先を決定した要素」などを

お話しいただき、保育科1年生へ自身のキャリア形成を考えるうえで、非常に有用な情報をいただきました。受講した学生からは、「働くこと」や「そのための学びの必要性」などを実感している様子が窺えました。

●1年生対象合同就職説明会体験

これまで2年生を対象に、本学会場にして、それぞれの保育関係団体が主催する就職説明会が開催されてきました。しかし、学びを重ね、実習を通して、自分の将来を考える1年生にも、具体的に自分が働いている姿をイメージできるようになることが必要であると考え、本学の主催で、宮崎県内の保育関係3団体（宮崎県保育連盟連合会、宮崎県幼稚園連合会、全国認定こども園協会宮崎県支部）にご協力いただき、1/16に開催することができました。宮崎、都城、延岡など県内7市5町の保育園や幼稚園、認定こども園などを運営する50法人が参加して

くださいました。

各法人のブースにおいては、園のパンフレットや令和7年度の求人票などを使って、実際の園の保育方針や特色、給与をはじめとした待遇面などを説明していただきました。地域を超えて様々な園の話聞く中で、学生たちは自分が就職する際に大事にしたいことなどを再確認したり、自分の理想とする保育を考え努力を決意したりする様子などが窺われました。

今回の説明会は、実際の就職活動の解禁前であり、あくまで授業の一環であることから、直接採用に結びつくわけではないにもかかわらず、多くの法人に協力していただけたことに感謝申し上げます。今回の園との出会いが、学生たちの宮崎への就職の意識付けとなり、県内の保育人材確保に貢献できればと思います。



▲先輩からのメッセージ



▲就職説明会

NEWS

小学生対象に保育のお仕事体験を開催

小 学校5・6年生を対象とした保育のお仕事体験を、3回(1/17(八幡保育園)、1/24(生目幼稚園)、2/14(ふなひきこども園))にわたって開催しました。今年度は、宮崎県内の保育関係3団体(宮崎県保育連盟連合会、宮崎県



幼稚園連合会、全国認定こども園協会宮崎県支部)と連携し、各団体に所属する宮崎市内の施設で実施することとなりました。

「小学生に保育の仕事に興味や関心を持ってもらい、将来は保育者をめざしてほしい」という想いから企画し、将来の保育者の卵となる約30名の小学生の参加がありました。

保育者の仕事についての説明後、実際に園児とかかわり遊ぶ時間が設けられました。はじめは緊張した様子も見られましたが、園児に寄り



添いながらやさしく語り掛ける姿や、園児とともに楽しそうに活動する姿が見られ、園児たちも安心して楽しそうに活動に参加していました。

多くの参加者より保育者になりたいという想いが強くなったという回答があり、数年後に保育者をめざす学生として、本学にて再会できることを強く願っています。

NEWS

門田理世先生による保育科講演会を開催

6 月27日に、西南学院大学・大学院教授で、全国保育士養成協議会の理事でもある門田理世先生をお招きし、保育科の学生に向けて講演が開かれました。

テーマは「世界の保育と日本の保育」。様々な国の保育施設の写真や

エピソードをもとに、その保育観や平和教育などについて、学生と意見を交えながらお話をさせていただきました。学生にとって、保育について改めて考えたり、多様な価値観から視野を広げたりできる、大変貴重な学びの時間となりました。

今後も保育科では、保育に関する最先端の研究者や実践者をお招きし、地方であっても優れた保育者を輩出する養成校であり続けるよう研鑽してまいります。



▲講演会の様子

講師



西南学院大学・大学院
教授
門田 理世 先生

NEWS

第2回MIYAGAKUこどもフォーラムを開催

宮

崎国際大学・宮崎学園短期大学幼児教育・保育センターでは、子どもが一人の人として尊重され、子育てが家庭が安心して暮らせるやさしく温かい社会の実現を願い、宮崎県の幼児教育・保育の発展に寄与していくための知見を得ることを目指し、昨年度より「MIYAGAKUこどもフォーラム」を実施しています。

今年度のフォーラムでは、子どもが豊かに生きることや学ぶことと深く結びつく“ことば”に焦点をあて、11月23日に開催されました。お茶の水女子大学附属小学校教諭、森壽彦先生を講師に迎え、乳幼児期教育と小

学校教育とを架橋することばの成果やことばの可能性を探ることを大きなテーマに、「生活から立ち上がる学び」を大事にした小学校での接続期カリキュラム授業実践についてお話をしていただきました。宮崎学園短期大学教授・保育科長、井上浩義先生、宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園保育主任、木脇孝子先生、宮崎学園短期大学非常勤講師・絵本専門士、佐藤由紀枝先生の3名による事例発表では、各現場での実践についてエピソードを交えながらご講話いただきました。乳幼児期の子どもの豊かな体験は、いかに小学校教育現場での学びへとつながっていくのか、子

どもの育ち・学びにみる“ことばの可能性”について学ぶ貴重な機会となりました。

今後も、子どもたちの「やってみよう」の気持ち、学びの芽を大事に育てていく教育・保育が実現できるよう、さらに学びを深めていきます。

講師



お茶の水女子大学附属小学校教諭
森 壽彦 先生

NEWS

学生が子育てボランティアに参加

8

月に蔦屋書店高千穂通り店にて行われた宮崎市主催の子育て支援イベントに、本学「みんなのおうちデザインサークル」の学生が参加しました。当日は、親子で来場されていた方々と遊びながら楽しく交流しました。

「音と楽しむ絵本の世界」と題した30分間のコーナーで、楽器を使って音を奏でる絵本の読み聞かせや手遊びの実践をしました。

これから保育者を目指していく学生たちにとって、子どもたちと触れ合う貴重な体験となりました。また、来場されていた方々に喜んでいただくこ

とができ、嬉しい時間となりました。

「みんなのおうちデザインサークル」は、地域の子どもたち、大人たちが交流できる場づくりを目標に活動しています。今回のイベントに来場されていた保育園の先生から「ぜひうちの園にも来て欲しい!」とお声がけい

いただきました。これからも人と人がつながる地域づくりができるよう社会貢献していきたいと思えます。



現代ビジネス科の一年間の取り組み

MESSAGE

学生一人ひとりの夢を実現するために—新たな船出の1年—



現代ビジネス科 学科長代行
川越 勇二

現

代社会は急速に変化しており、社会や企業が求めるビジネススキルも多様化しています。この時代の進展に対応し、たくましく生き抜く力を備えた人材を育成するため、現代ビジネス科は今年度、以下の8コースに生まれ変わりました。

- ソーシャルメディアデザイン
- 情報クリエイティブ
- 観光・ホスピタリティ
- 司書・オフィスワーク
- メディカルマネジメント
- 経営・マーケティング
- 異文化コミュニケーション
- グローバルコミュニケーション

IT技術の進歩、グローバル化を見据え、これからの社会に必要とされる専門的なビジネススキルを、より深く学ぶことができます。

新コースの設置にともない、学生のニーズに柔軟に対応できるシステ

ムを導入したことも、大きな変更点です。入学時にコースを決めるのではなく、さまざまな科目を学ぶ中で、自分の進みたい道をじっくりと見きわめ、1年生の後期からコースを選択(チョイス)できるようにしました。一度決めたコースを変更(シフト)することも可能です。さらに、他コースで興味関心のある科目があれば履修(ブレンド)でき、取得したい資格があれば、スキルアップを目指す科目も取れるようにしています。このような「チョイス」「シフト」「ブレンド」のシステムを導入することで、学生一人ひとりの学びに寄り添い、それぞれの夢の実現をサポートしていきます。

また本学では、他大学との協働による学びも提供できるようになりました。宮崎大学、宮崎国際大学、南九州大学と連携した「SPARC(地域活性化人材育成事業)」「大学の世界展開力事業」に参画しており、今年度より4大学の連携開設科目がスタートしました。この科目を履修した学生は、他大学や海外の学生たちと共に学ぶことができるようになり、さらに視野を広げ、コミュニケーション能力を向上させるなど、貴重な学びを得ています。

令和8年度の現代ビジネス科入学予定者数は、大幅に定員を上回っており、新コースの学びに対する高校生の関心と期待の大きさが窺えます。私たちは、この思いに応えるべく、

教育の内容と質をさらに充実させていきたいと考えています。

新たなスタートを切った現代ビジネス科ですが、令和7年度卒業生は、4コースで学んだ最後の学生として、それぞれの夢に果敢に挑戦し、自らの進路を切り拓いてくれました。

就職においては、県内の大手金融機関、優良企業、国公立病院など、幅広い業種で多くの内定をいただくことができました。本人の努力や先生方の手厚い指導があればこそその成果ですが、本科が行っている地元企業との協働による実践的なプロジェクトが、学生たちのキャリア形成に大きな力を与えてくれたことも要因の一つと考えています。

大学編入においても、短大での学びや資格取得を活かし、希望者3名のうち2名が国公立大学、1名が私立大学への編入試験に合格しました。

「現ビ」の先輩たちがこれまで大切にしてきた挑戦する心、成長する力を、新コースで学ぶ学生たちも必ず引き継いでくれるものと信じています。

今年は現代ビジネス科にとって、新たな船出の年でした。学生の可能性を広げ、夢を実現させるための準備は整いました。後は、その中身をいかに充実させるか、質の高いものとしていくか。それが私たちに課せられた使命と考えています。これからも、地元宮崎に根ざし、地域と共に深化を続ける現代ビジネス科であり続けます。

NEWS

小学1・2年生のためのプログラミング体験講座

宮 崎科学技術館および加納児童センターと連携し、学生たちがScratchやmicro:bitを使ったプログラミング体験講座を企画・実施しました。ゲームづくりや、小型コンピューターで光るランタン

づくりを通して、プログラミングを用いたクリエイティブな発想やものづくりの楽しさを伝えました。小学校低学年の子どもたちにプログラミングの面白さを体験してもらい、次世代のIT人材育成につなげています。



NEWS

地元企業とのコラボ商品の開発

地 元の和菓子店「お菓子の日高」とのコラボレーションから生まれた、かぼちゃとナッツを組み合わせた新感覚の大福『かぼナッツ』を完成させました。「宮崎の名産品を開発しよう」というテーマのもと、学生たちが地域の魅力を再発見し、最大限に引き出すことを目指す「地域ブランディング」の一環として取り組んでいます。



◀ お菓子の日高 宮崎駅店で販売の様子

REPORT

UMKイベント学生提案プロジェクト

地 元テレビ局UMKが主催するイベントに学生たちが参加し、来場者や出店者の方々に対してアンケート調査を行いました。

調査では、「OMOFES」の認知度、売上への影響、マナー面の状況、地域活性化への印象など、イベント運営に関わる基本的な項目を中心に聞き取りました。集めた回答を学生が分析し、イベントの課題や改善点を

整理したうえで、UMKの担当者へプレゼンテーションを実施しました。

学生ならではの視点を生かした提案は、来年度のイベント企画に向けた新たなヒントとなり、地域イベントの質向上に貢献する取り組みとなりました。実際のイベント調査を通じて、学生にとっても実践的な学びと地域貢献を両立する貴重な経験となっています。



NEWS

特色のある授業が増えました

豊

富に揃ったカリキュラムの中から、特に人気のあるものをピックアップしてご紹介します。

色彩学

色には、人の気持ちを動かしたり、空間の雰囲気を変えたりする不思議な力があります。この授業では、色の見え方や感じ方の違いを理解しながら学び、配色のコツを身につけることで、デザイン表現の幅を大きく広げる力を養います。



観光英会話

ホスピタリティ業界専門用語やケーススタディをペアワークやディスカッション等演習授業に取り入れて英語で学習し、実践的な接客英語やビジネスを学習します。



プログラミング

プログラミングIでは、初めてでも安心して取り組める内容から始め、演習を通して「できた!」という達成感を重ねます。プログラミングIIでは、コードを書く力を身につけ、実践的な課題に挑戦。将来に役立つスキルを習得します。



図書・図書館史

本はどのようにして生まれたのだろうか? 東洋と西洋の図書館の違いは? 図書と図書館の歴史、その変遷について学びます。さらに、これからの図書館の在り方についても考えていきます。



TOEIC演習

TOEIC試験は国際系や接客系の就職時に必要となる英語能力試験で、目安として500点~700点以上が求められます。学生は、講義以外でも英語を日常的に学習してより高得点を目標していきます。



Webデザイン演習

Webサイトの基礎から学び、HTMLやCSSを使って自分のアイデアを実際のWebページとして形にしていく授業です。ページの構造づくり、画像や動画の扱い、スマホ対応のデザイン、SNSでの発信方法まで幅広く身につけられます。



医療・介護マネジメント

健康や医療・介護に関わるサービスを提供するマネジメント全般の他、医療産業や医療政策についても考えていきます。



マーケティング概論

マーケティングの定義、競争戦略、STP、4P4C、消費者行動について学修します。マーケティング戦略の手法を学び、さまざまな企業の事例を知ることで得た知識を現実のビジネス活動と結びつけて理解できるようになることを目標とします。



キャリアガイダンス

自分の強みや価値観を見つめ直し、将来の進路や働き方を具体的にイメージしていく授業です。ビジネスマナーや応募書類の書き方、面接のポイントなど、社会に出るために必要な知識も基礎からしっかり学びます。



REPORT

コミュニケーションデザイン演習Ⅱ

現

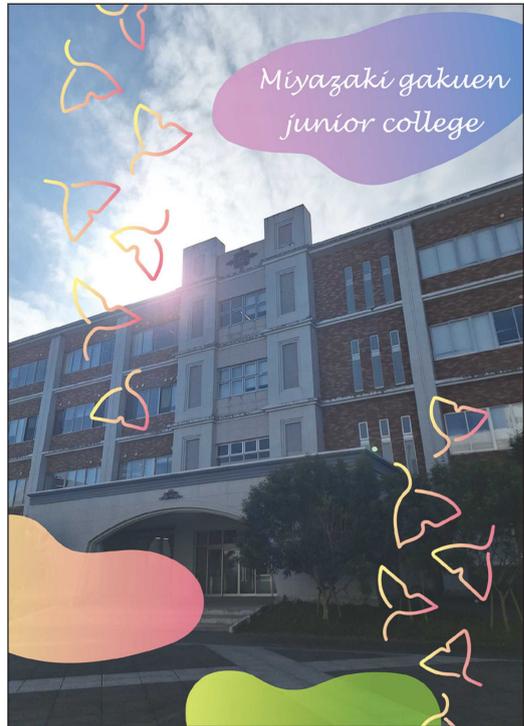
代ビジネス科では、科目「コミュニケーションデザイン演習Ⅱ」を通して、表現力の基礎からデザイン専門ソフト（Adobe Illustrator、Photoshop など）の実践的なスキルまで幅広く学んでいます。

学生たちは、課題制作を重ねる中で「伝えるための工夫」や「視覚的に魅せる力」を磨き、自分のアイデアを形にする楽しさと難しさを体験しています。

▼学生作品



現代ビジネス科 2年 伊地知 愛海



現代ビジネス科 2年 児玉 りの



現代ビジネス科 2年 川越 葉結実

担当教員



現代ビジネス科准教授
河野 美香子

専攻科(福祉専攻)の一年間の取り組み

MESSAGE

お礼のことば



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

令

和5(2023)年度に専攻科の募集停止が発表されて以降、超高齢社会に逆行することへの戸惑いとともに最後を締めくくらないければならぬ重責を感じてきました。そして今は、最終年度の28期生を迎え、あらゆるスケジュールが終わる度に複雑な安堵感を覚えています。

専攻科(福祉専攻)は、南九州唯一の介護福祉士1年課程養成校として平成10(1998)年度に設置されました。保育士資格取得後、さらに高齢者や障がい者福祉についても学修し、昨年度までに累計985人が修了しました。

直近10年間で代表する出来事として、平成23(2011)年の法改定

により介護福祉士の業務に喀痰吸引等が位置づけられ、本学では領域「医療的ケア」が平成27(2015)年度にカリキュラム追加されました。チーム医療の実践に必要な多職種

の理解と尊重ならびに協働と連携が必須となり、専門的な知識・技術のみならずICT活用による情報共有など介護福祉士に求められる役割と期待が益々高まっています。また、多様化する介護ニーズに対応する介護福祉士の資質保証と社会的信頼の向上を目指し、養成校においても平成29(2017)年度より国家試験の受験が義務づけられました。毎年「秋の忍ヶ丘祭」を満喫し「全国学力評価試験」を終えた頃には、自ずと受験モードに突入する学生の姿がありました。1年課程の慌ただしさゆえあらゆる不安が押し寄せる学生たちですが、保護者様をはじめ教職員や先輩方など多方面から支えられ乗り越えることができました。改めて感謝申し上げます。

介護福祉士の国家資格とは、先に述べた介護ニーズに対応できる能力を証明するだけではなく、基本的人権を理解し倫理観を備えた組織の中核的存在になれる人材の証でもあります。高尚であると同時に、それらの学びは自分自身や大切なご家

族様の穏やかな暮らしを創造できる力になります。もっと介護学を身近に捉え、ホスピタリティ豊かな福祉社会になって欲しいと願います。

結びに、長い歴史の先頭で開学にご尽力された藏重幸子先生、学生数を増員され地域との盤石なネットワークを構築された花畑明美先生ほか先生方に深い敬意を覚えますとともに、熱き先生方と介護福祉士養成にたずさわられましたことを光栄に思います。加えて、福祉人材としてご活躍され温かく見守ってくださった修了生の方々に深謝いたします。

また、実習生を快く受け入れてくださいました施設利用者様とご家族様、ご多忙のなか丁寧にご指導くださいました実習指導者ならびに職員の方々に厚く御礼申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を衷心より祈念申し上げます。



STUDENT LIFE

専攻科(福祉専攻)の1年間

入学式
(4月5日)



◀ 新たな気持ちで
24人が新年度
をスタートさせ
ました。



春の忍ヶ丘祭
(4月26日)



私たちが目指すのは～優勝だ～!!



授業風景



▲ 音楽療法を活かした「まんじゅうこわい」♪



▲ 私たちはいろいろな楽器を使って、「ばっちょがさ」をしました。

国試対策



▲ 全員合格に向けて、頑張ります!!



▲ 皆で取り組むと、勉強がはかどります!!
目指せ!! 125点!!

演習風景



▲専攻科に入学して初めての演習！
QOLの向上に向けて、これから頑張るぞ～!!

車いす介助



▲命を預かるって……責任が重たいなあ



歩行介助

▲麻痺の疑似体験をしました。利用者役・介護者役の両方を体験し、支援方法が理解できました！



食事介助

▲口で食べられることの大切さを学びました。五感の大切さも実感しました。



洗髪

▲気持ち良くリラックスできるように工夫しました♪



手浴

▲温熱によるリラックス効果やコミュニケーションの楽しさを実感しました。



機械浴

▲利用者に寄り添ったケアが大切だと学びました。



足浴

▲表情や体調を確認しながら、慎重に足浴に臨みました。



調理実習

▲高齢者の『食べやすさ』を考えて、正月料理
(筑前煮・伊達巻・栗きんとん)を作りました。



▲おいしく上手に
▶できました♡



秋の忍ヶ丘祭
(10月25日)

▲学生最後の行事！ 皆で協力してダンスの練習をしました。

思いっきり楽しんだ秋忍、最高!!



▲キッチンカー巡りも楽しかった～♪



[ミヤタン教員の研究を紹介します]

研究室レポート

Pick up
01

これからの 国際化と教育の 重要役割分担と 改革とは

報告者



現代ビジネス科
准教授 長島 洋介

■Active Learningの意義と高等教育 における位置づけ

現在、日本の高等教育は大きな転換点を迎えている。文部科学省が推奨する「学修者本位の教育」の核となるのは、単なるActive Learning(能動的学習)の導入ではない。それは、従来の講義中心型授業の限界を超え、学修者が生成AI等のテクノロジーを使いこなしながら、議論・発表・ケーススタディ等を通じて主体的に思考すること。そして、既存の知識をなぞるだけでなく、自らの思考で新たな解を導き出す「Creative Active Learning(創造・能動的学修)」への進化が求められている。

こうした日本における学びの転換を深く理解するためには、そのモデルの源流である諸外国の実践に目を向ける必要がある。Active Learningの概念は1960年代の米国に端を発し、大学進学率の上昇に伴う教育需要の変化に対応する形で発展した。特に米国では初等教育段階から発信型学

習が体系的に取り入れられ、ディスカッションやディベートを重視する実践的学習定着教育文化が形成されてきた。このような教育環境は、学修者の主体性や批判的思考を涵養する基盤として機能している。

米国およびオセアニア地域における20年以上の教育現場経験から、学修者の学修態度や教育文化の差異を経験的に観察してきた。多くの高等教育機関では授業への参加度(Class Participation)を成績評価に20~30%程度組み込むことが一般的であり、授業内での発言や積極的関与が学修の重要要素として位置づけられている。これらの実践は、学修者の自律性および学習に対する責任感を高める効果を持つと考えられる。

■日本におけるActive Learningの定着 を阻害する要因

日本帰国後、国内の高等教育機関で担任業務および管理職として経験した実践知に基づくと、日本でActive Learningを定着させる上で以下の3点が主たる課題として

浮上する。

1. 暗記偏重型教育の歴史的継続性

日本では長期にわたって知識再生産を重視した教育が主流であり、質問・発表・議論といった双方向的学習に対する経験値が低く学習定着率も低い傾向がある。そのため、経験や実践研修不足で教育方法のみを変更しても学修者・教員双方の即時的適応は賛否両論の意見が存在する。

2. 国際化への意識・能力の地域差および世代差

教育現場では、国際化の進展に対する危機感や対応力に個人差が大きい。特にICT活用能力や語学力の更新や現代に必要な教育内容の理解が不十分のまま指導的立場にある教員の存在が、教育改革を阻む構造的要因となる。

3. 少子化・学力低下対応に伴う「過保護化」の進行

学生支援の強化は重要である一方、過度なサポートは学修者の自律性を阻害し、主体的行動の欠如(例:指示待ち傾向、課題遂行力の低下)を招く可能性がある。大学教育は本来、学修者が社会的自立へ移行するための最終段階であり、この点の認識共有が求められる。

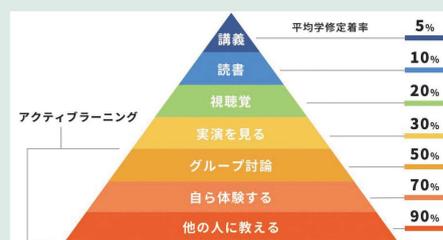
■Active Learning推進に向けた教員役割と教育実践

3点の課題を踏まえると、Active Learningの効果的運用には教員自身の教育観・学習観の更新や現代のニーズの理解が不可欠である。特に大学や短期大学は高校までの受験主体教育とは異なり、社会人

としての「生きる力」を育成する教育が求められる。すなわち、教員も学修者に期待する主体性や協働姿勢を、できる人のやらせるだけではなく自らが先行して自らの学びを体現する「Role Model」としての振る舞いが重要となる。

■「苦手」を「できる」に変える教育をめざして

特に私が主に担当する英語教育の領域においては、学修者が強い苦手意識を抱える傾向が顕著である。これらの心理的障壁を踏まえつつ、段階的に自己効力感を高める授業設計を行い、学修者が「苦手」状態から「主体的に表現できる」状態へ移行するプロセスの構築に努めている。その鍵となるのが、単なる言語習得に留まらない「Creative Active Learning」の実践である。これを媒介として「自ら考え、他者に伝え、行動する力」を育成し、国際化が進展する社会において実践的に活躍できる人材を育てることが重要である。仕事をすることや国際的対応では完璧なマニュアルはなく、自分が1つ1つの経験を積み上げて構築する以外はない。本研究および実践は、そのための教育モデルの重要性の確立に寄与するものである。



▲図表 ラーニングピラミッド：学習定着率の違い

Pick up
02

「教員養成に貢献する 教育学研究を 目指して」

報告者



保育科
講師 村上 和巖



簡単にはございますが、私の1年間の研究活動を紹介させていただきます。今年1年間は、大きく2つの研究活動をしてきました。

1つ目は、社会経済的に不利な立場にある生徒 (Socioeconomically disadvantaged students) の「進学とキャリアの準備 (College and Career Readiness)」を促進する学区 (School district) に関する研究です。近年米国では、「進学とキャリアの準備」を目標とした教育政策が実施されています。この目標は、高校生が大学や就職先への準備をせずに卒業している状況が問題視されたことで求められました。また、米国では学校教育の成果を数値で公開する制度があり、「進学とキャリアの準備」という目標に対する教育成果も数値で公開されています¹⁾。

こうした中、私が研究対象としているカリフォルニア州では、学区が上記のようなデータを学校改善計画の策定において活

用しています。すなわち、すべての高校生の「進学とキャリアの準備」を促進するために、その成果を数値化し、それに基づいた学区を中心とした学校改善が実施されているわけであります。

ただし、こうしたデータに基づく学校改善が展開されているにもかかわらず、カリフォルニア州において、社会経済的に不利な立場にある生徒の「進学とキャリアの準備」は促進されていないことが報告されています。

こうした状況を踏まえ、私は「社会経済的に不利な立場にある生徒が多く在籍する一方で、実際にかねらの『進学とキャリアの準備』を促進してきた学区」に目を向けました。こうした学区の状況や学校改善を分析することで、社会経済的な背景に基づく「進学とキャリアの準備」に関する教育格差の是正に向けた示唆を得たいと考えています²⁾。今後は、上記のような学区やその高校を現地調査することで、より詳



.....

細な分析をしていきたいと考えています。

2つ目は、保育者養成を担う短期大学における初年次教育科目に関する研究です。保育者養成を担う本学に着任したことをきっかけに、共同研究として進めてまいりました。短期大学における保育者養成の課題の一つとして度々挙げられるのが「学生の多忙化」です。2年間という短い期間で学生は、幼稚園教諭免許状や保育士資格等の取得に必要な科目を受講し、さらには就職活動も同時並行で行っております。その他、短大のイベントやアルバイトもしており、保育者を目指す学生は多忙であると言えます。こうした中、本学では幼稚園教諭免許状や保育士資格の取得に必要なではない初年次教育科目が必須科目

として設定されているわけですが、これは保育者を目指す学生にとってどのような意義があるのでしょうか。私たちはこうした問題意識の下、研究を進めております。具体的には、初年次教育科目を担当している教員へのインタビュー調査や、学生へのアンケート調査を実施しました。今後は明らかになったことを踏まえ、授業を学生にとってより意義深いものにしていきたいと考えています。

以上、私の1年間の研究活動について紹介させていただきました。今後も宮崎学園短期大学の教員として、保育者(教員)養成に還元できるような研究を進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

- 1) 村上和巖(2022)「米国カリフォルニア州におけるCollege and Career Readiness政策—アカウントビリティシステムに着目して—」九州教育学会研究紀要、49巻、79-86頁。
- 2) 村上和巖(2025)「米国カリフォルニア州における『進学とキャリアの準備』を促進する学区に関する研究—学校改善計画に着目して—」教育制度学研究、32号、158-174頁。

新 教 職 員 紹 介



きりあき さとみ
桐明 里美 保育科

違いをおもしろがれる人に

今年度より保育科の教員として勤務し、特別支援教育関連の講義や学修支援を担当しています。人には皆もともと個性があり、当たり前ですが同じ人はいません。知られている通り、生物の世界で多様性を欠いた種族は滅びてしまいます。つまり多様であることはとても大事なことです。「障害」が個性と捉えられるようになって、ずいぶん経ちました。診断基準も様変わりしています。学生の皆さんには、相手が誰であっても互いの違いについて排除するのではなく、知的好奇心をもって臨み、そこに「困り」があれば必要な支援をする……そんなフェアな関係を築いて欲しいなと思っています。



えだ なおこ
江田 菜穂子 保育科

質の高い保育者を養成するために

今年度より保育科講師として、「保育内容『人間関係』の指導法」「子どもと健康」「教育課程論」「保育実習指導」などの科目を担当しております。大学卒業後は幼稚園教諭として勤務し、その後大学院修士課程を修了しました。幼稚園教諭として保育の現場で勤務していた経験をいかし、理論と実践がつながるような授業を心がけております。「子どもっておもしろい!」「保育って楽しい!」と思うことが、より良い保育をするための第一歩だと考えています。一人でも多くの素敵な保育者を輩出し、保育全体の質の向上に貢献していければ幸いです。



むらかみ かずたか
村上 和厳 保育科

学生とともに成長

今年度より、保育科の教員として、教育原理や教職概論、教育学、キャリアガイダンス、学びのステップなどの科目を担当させていただいております。これまで大学院生(修士・博士課程)として、米国カリフォルニア州の教育制度に関する研究をしてきました。これまでの経験を生かして、「保育・教育のあり方」について考える授業を行いたいと思います。学生の皆さんと一緒に多くのことを学び、また、たくさんを経験することで、私自身も「短大教員」として成長していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



うすい じゅん
薄井 淳 保育科

自分をつくる造形表現

今年度より、保育科の教員として子どもと表現(造形)I・II、子どもと絵本I・II、保育内容「表現」IIなどの科目を担当しています。以前は小学校の図画工作専科や専修学校の造形表現を担当していました。図画工作や造形表現では様々な材料や用具を使います。ものに触れ、表現する中で、ものと対話し、自分と対話します。まさにそれは、ものをつくることと同時に、自分をつくっていくことでもあります。学生にとって、表現技法の習得だけでなく、表現を通した自分づくりに向き合えるような学びにしていきたいと思っています。



ながしま ようすけ
長島 洋介

現代ビジネス学科

真の国際人への第一歩を!

本学では、3コースを担当し英語学習をはじめ国際学に関する科目を担当しています。学生サークルでは留学生と交流する活動を通じて、学生には教室で学ぶ英語だけではなく、「英語や異文化理解の知識をどれだけ実用的に使うか?」という実践的な経験を積む大切さを伝えています。今後の日本社会では国際化がさらに急速に進み、英語や外国人対応の需要が増えますので、私の20年間の留学や海外勤務の経験を軸にそれに対応できる人材教育に力を入れます。



いき みちこ
壺岐 路子

総務部

丁寧な対応を心掛けています

現在、総務部に勤務しております。主に窓口対応や書類の発送・受付、在学生と卒業生の証明書発行業務などを行っております。前職では銀行に勤務しておりました。銀行員はお金を扱う仕事ですので、ひとつひとつの仕事丁寧かつ迅速に行うことが求められます。間違えられない緊張感の中、相手がどのようなことを求めているのかを判断し、手続きをする必要がありました。学生の皆さんをはじめとして、卒業生や外部の方々と接する機会も多く、これまでの経験を活かして貢献できるよう努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。



まえだ こなつ
前田 小夏

総務部

充実した学校生活のために

令和7年7月より総務課で勤務しています。総務課の業務は幅広く、大変なことも多いですが、その分やりがいを感じています。自分の人生を思い返すと「勉強して良かったこと、得たこと」はあっても、「勉強して悪かったこと、損したこと」は何一つない気がします。資格が無駄になったことも、荷物になったこともありません。むしろ、様々な経験をすることができました。今、皆さんも限られた学生生活の中で、自分の夢や目標に向かって努力していることでしょう。その学校生活がより良いものになるよう総務課として尽力したいと思ひます。



つるた ひろこ
鶴田 紘子

総務部

充実した学生生活のサポート

昨年9月に宮崎国際大学の入試広報部から異動して、総務課の会計係をしています。異動したばかりの頃は覚える事が多く、焦りや不安で落ち着かない日々でした。そんな中に聞こえてくる学生の皆さんの笑い声には、いつも元気をもらっていました。特に、黄色く染まった銀杏の下でスマホを持って歓声をあげている姿は微笑ましかったです。まだまだ新しい業務に慣れず、不安も大きいのですが、総務課での仕事を通して、皆さんの学生生活がより良いものになるようサポートできればうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。



ちはら ひろゆき
千原 大幸

入試広報科

正しい情報提供を

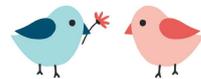
今年度4月に入職し、4月から8月までは会計課にて会計業務に携わりました。会計課での業務を通して、学内全体の運営に関わる事務の流れを学びました。9月より入試広報部に異動し、進学説明会の対応や、各SNSおよびホームページの更新などの広報活動を担当しています。正しい情報を分かりやすく伝えることを意識するとともに、学生の学内での楽しそうな様子や取り組みを多く発信していきたいと思っています。こうした情報発信を通して、宮崎学園短期大学の雰囲気や魅力をより多くの方に伝えていきたいと考えています。

幼児教育・
保育センター主催

2025年度公開講座

本学幼児教育・保育センターでは、子どもの主体性を尊重する保育やこどもまんなか社会における“こども観”への学びを深め、新しい時代にふさわしい保育学の知見を得るための講演会や研修会を企画・開催しています。

12月「どの子ども安心♡どの子どもまんなか♡ ともに育つクラスづくり」



子どもの「認知」や「発達」に応じた環境調整から始めるクラスづくりと、認知行動理論に基づく「魔法の言葉かけ」による子どもと保育者の温かい関係づくりについて、三宅先生の現場でのエピソードや様々な園の実践を通して学びました。

質疑応答の時間には、活発な意見交換が行われ共に学び合う時間となりました。



講師：三宅 浩子

3月開催予定「空気をつかむはなし」

今年度は、造形表現に関するワークショップも企画しました。山本先生の講座では、大型ビニール素材を用いて空気に形を与える造形表現を行いながら、実体のないものを可視化するとはどういうことかを考え、「造形遊び」に向き合う意義について現場の先生方と共に考える機会となればと思います。準備中です。

今後も、地域に貢献できる保育者養成校として、多様な学びの場を準備していきたいと思っています。



講師：山本 辰典

今年度は、「ともに学びを編みなおそう」というテーマで2つの公開講座を企画・実施しました。県内各地から多くの方々にご来校いただき、本学卒業生

も多数ご参加くださいました。みなさまと共に学びをアップデートする有意義な時間となりました。

一人ひとり、
自分らしく

こども音楽教育センターの活動

音や音楽が“うまれる” 音や音楽で“つながる”

こども音楽教育センターは今年度で35年目を迎えました。平成3年に「母と子どものための音楽研究所(MHS)」として誕生した本センターは、子どもたちの感性豊かな表現力と心を育てるため、質のよい音楽教育の場の提供と独自の音楽教育プログラムの開発、さらに清武町の音楽活動の活性化と音楽文化豊かな街づくりに貢献していくことを願って誕生し、これまでたくさんの方々との出会い、支えていただきながら共に歩みを進めてきました。

現在、本センターには子どもから大人まで約100名の方々が通っています。開所初期から約20年以上の期間、本センターでレッスンを続けている方々も多くおられます。

本センターのミュージックセラピーやレッスンでは、多様な感覚を使って音や音楽を体験すること、一人ひとりが自分らしく表現し、豊かに音楽を創り上げていくことを大切にしています。対象者みなさんが音楽を心から楽しみ生き生きと表現する姿に、私たちセラピストもたくさんの力をいただいています。

今年度も、たくさんの音や音楽が生まれ、響き合い、共に新しい体験を積み重ねてきました。このような時間を過ごさせていただけることは本当に幸せだと感じています。今回は、活動の様子を写真と共にご紹介します。

毎年行われるコンサートでは日頃のレッスン成果を発表します



大好きな音楽を
みんなに聴いてもらうのは
とてもうれしいですね



アンサンブルグループのメンバーで
熱心に音合わせ中



うれしいね

レッスンではいろんな感覚を使って音や音楽を体験します



音や音楽を聴きながら
描いて遊べます。
絵具の感触も気持ちいいね



身体でいっぱい感じて
表現すると楽しいですね

みんなで描いてできあがった花火!!





通年での感染症対策に取り組みましょう

いつも感染症対策を忘れずに

昨今は一年を通してインフルエンザ、COVID19だけでなく、様々な感染症が存在しています。いずれの感染症であっても、感染対策は同じ考えに基づきます。「病原体(感染源)」「感染経路」「宿主」、この3つの要因が揃うことで感

染が成立するといわれています。つまり、これらの要因のうち一つでも取り除くことができれば(感染対策を行えば)、感染は成立しないというわけです。私たち自身で取り組めるのは、「感染経路」を遮断することと「宿主(私たちの身体)」

の抵抗力を高めることです。

基本的なことですが、「マスク着用」「うがい・手洗い」「手が触れる場所の消毒」「免疫力を上げる」。それが一番簡単な効果的な感染対策なのです。

4つの感染症対策



マスク着用



うがい・手洗い



手が触れる場所の消毒



免疫力を上げる

梅毒の感染を疑ったら検査しましょう

全国で「梅毒」が拡大していることをご存じでしょうか。宮崎市も例外ではありません。感染者の年齢層は男女とも10代～70代まで幅広く、特に女性の20歳代が突出して多い状況です。初期症状は性

器や口にできものができますが、悪化すると脳や心臓に障害が起こります。また気づかないうちに感染を広げる危険性があります。妊婦に感染すると、出生児が難聴や網膜炎による失明・白内障などを発

症してしまうことがあります。治療をしっかり行えば完治する感染症です。心配な出来事がある場合、症状がある場合は検査を受けましょう。医療機関以外では、保健所で検査を行っています。

オープンキャンパス報告

- 第1回オープンキャンパス 令和7年5月31日(土)
- 第2回オープンキャンパス 令和7年6月21日(土)
- 第3回オープンキャンパス 令和7年7月26日(土)
- 第4回オープンキャンパス 令和7年8月23日(土)
- 第5回オープンキャンパス 令和8年3月20日(金)



わたしたちが
運営しました



ミニ体験ブース



▲ 赤ちゃんのお世話体験



▲ VR 体験

ミヤタンに
戻って来てね～



宮崎交通コラボ企画



▲ スカーフ巻き体験

大学概要紹介



体験
マシーナラー



特別講座



▲ 小論文対策講座



▲ 面接対策講座

在学生との交流



イベントプログラムは
他にも

保護者のための説明会

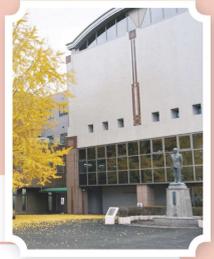
選抜試験紹介

2026年
オープンキャンパスのご案内

詳しくは
本学ホームページで
チェック!



宮崎学園図書館の活動



2025年度も通常の貸出業務に加えて、さまざまな展示やイベントに取り組みました。

季節や行事に合わせた展示を行っています



5月 こどもの日



7月 七夕



12月 クリスマス



3月 ひなまつり



卒業後も利用できます！

卒業生の皆さんは、学園図書館を引き続き無料で利用できます。館内閲覧はもちろん、貸出や予約、AV視聴も可能です。ぜひご利用ください。



ぎんまる君

※初回はカウンターで登録(無料)が必要。



古本市



読み聞かせ講演会
(2023年実施)

保育関連の本が揃っています



保育所・幼稚園実習関連本



手作り玩具製作本

学生の作品を展示しています

保育科



現代ビジネス科



飲食専用コーナーをご利用ください

昨年リニューアルし、より快適な空間になりました。ゆったりと落ち着きのある空間で、飲食していただけます。



手作り玩具



コミュニケーションデザイン演習II
「わたしの好きなミヤタン」

りんごの棚

りんごの棚は、スウェーデン生まれの「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」です。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことが目的で、世界各地に広がっています。言語障害のある子どものために作られた、りんごのおもちゃから名前が付けられました。



お知らせや
特集・新着情報は、
こちらからチェック



図書館HP



図書館OPAC
(蔵書検索)

宮崎学園図書館

住所: 宮崎市清武町加納丙1415
電話番号: 0985-85-1410

開館時間	曜日	通常期	休業期
	平日	8:30~18:30	9:00~17:00
	土曜日	9:00~13:00	休館日

貸出	資料	冊数	期間
	図書	20冊以内	28日以内
	AV資料・雑誌・漫画	各5点以内	7日以内

※返却日を2週間過ぎると、延滞料金が発生します。

卸売・小売業

ツツミ、宮崎日産自動車

医療・福祉業

宮崎生協病院、古賀総合病院、延岡共立病院、かねだ眼科、鶴田病院、野崎東病院、宮永病院、宮崎江南病院、さくら学園、ゆりかご児童館・児童クラブ、インスパイア、みんせいかん、宮崎県社会福祉事業団、清松園やわらぎの里、めやす箱、あすなろの里、まほろば福祉会、シルバーケア野崎

金融・保険業

宮崎銀行、宮崎太陽銀行

製造業

かわさき屋

運輸業

大分交通、宮崎交通航空部

宿泊・飲食サービス業

フェニックスリゾート、ワシントンホテル、JR九州ホテルズアンドリゾーツ

サービス業

メモリード宮崎、アソウヒューマニーセンター、スタッフサービス、KISHIDAエンジニアリング、宮崎工設

建設業

JAPAN HOME WAND、サンエク

教育・学業支援業

宮崎学園図書館

幼稚園

野の花幼稚園、月見ヶ丘幼稚園、高岡幼稚園、共愛幼稚園

認定こども園

【幼稚園型】

一万城幼稚園、高鍋カトリック聖母幼稚園、日向カトリック幼稚園、住吉幼稚園、田野カトリック聖母幼稚園、日南・飢肥カトリック幼稚園、大塚あけぼの幼稚園、西都カトリック幼稚園、子供の家幼稚園、本郷幼稚園

【県外】 第一鹿屋幼稚園

【幼保連携型】

ごんげん認定こども園、祇園こども園、みどり幼稚園、清武みどり幼稚園、潮見保育園、生目幼稚園、あいう幼稚園、めいつ保育園、川東さくらんぼこども園、加納ひまわり幼保園、上長飯認定こども園、南町保育園、よいこのもり認定こども園、中央ピラこども園、恵愛こども園、横町さくら保育園、アリス子供の家幼稚園、日向こども園、桜ヶ丘幼稚園、ひかり幼稚園、さかえこども園、大塚原保育園、さくらんぼ保育園、東幼稚園、たでいけ認定こども園、光が丘幼稚園、古城認定こども園、日向保育園、日南幼稚園、日の出幼稚園、三和こども学舎、ももの木こども園、わかばの森

こども園、くるみ保育園、かたひら認定こども園、風光るゆめの森、山下保育所、ちどり保育園、早水保育園、平和が丘幼稚園、こばと保育園

【県外】 川井宿認定こども園、吉田南幼稚園、荏田北認定こども園、認定こども園やまなみ、認定こども園りとるルーナ

【保育所型】

宮崎みなと保育園、ひなたほいくえん、飛江田保育園、ひばり保育園、たいようこども園

【地方裁量型】

認定こども園浄念寺学園

保育園

宮崎福祉会、緑ヶ丘保育園、大宮保育園、ぼっぼ保育所、ななほしキッズ、黒坂保育園、わかすぎ保育園、めぐみの聖母保育園、はらぺこあおむし保育園、天ヶ城保育園、にちなん保育園

【県外】 にじいろ保育園、グローバルキッズ、なかよし保育園、みそら保育園、コスモス保育園、おおはし保育園

公務員

宮崎市、川南町

進学

大分大学経済学部、別府大学国際経営学部

お知らせ 日本学生支援機構からのお願い

- 在学時に貸与奨学生だった卒業生の方「毎月、あなたの口座から、返還金が引き落とされていますか？」
 昨年の3月卒業の貸与奨学生の方は、令和6(2024)年10月から奨学金の返還が始まっています。通帳の確認をお願いします。
- 減額返還・返還期限猶予について
 あなたが、経済困難、失業、傷病、災害等により返還が困難になった場合、猶予を受けることができます。
 ※スカラネット・パーソナルでの手続き

- 返還中に登録内容の変更が生じたら、各種届出を必ず行ってください。
 ①住所または電話番号が変わった。
 ②連帯保証人、保証人、本人以外の連絡先が変わった。
 ③連帯保証人、保証人が変わった。
 ※①及び②は、スカラネット・パーソナルでの手続き
 ※③は、書面での手続き

日本学生支援機構相談窓口

TEL 0570-666-301

<https://jasso.go.jp/shogakukin/henkan>

しのぶ会だより

総会員数 21,191名（令和8年3月現在）

📢 第1回ホームカミングデイの開催



第

1回ホームカミングデイが10月25日(土)に開催されました。会場の入口近くには卒業アルバムが展示され、一気に学生時代を思い出し懐かしい気持ちがかみ上げてきます。記念すべき初回の開催となり、記念講演に本学の卒業生（令和4(2022)年度保育科卒業）であり元宝塚歌劇団の舞咲りんさんをお迎えしました。なかなか知る機会のない貴重な宝塚歌劇団のお話を、時には関西弁を交えてコミカルな口ぶり

で、あっという間に時間が過ぎました。

最後にはみんなで校歌を歌い、懐かしい学び舎でのひと時を過ごしました。

当日は秋の忍ヶ丘祭も開催されており、学生たちのにぎやかな様子も当時を思い出すきっかけになったのではないのでしょうか。

今後も定期的にホームカミングデイを開催する予定です。卒業生の皆様、是非懐かしい学び舎へ級友や恩師に会いに来てください。日程はHP等でも告知します。



▲舞咲りんさんの講演「明日は今日より良い日になる」



▲懐かしくてアルバムを見入ってしまいます



▲講演の中で取り上げたお菓子を賭けて、じゃんけん大会



▲最後にみんなで校歌斉唱



次回のホームカミングデーは、秋の忍ヶ丘祭と合わせて開催予定!!



しのぶ会が新体制になりました

この度、名誉会長に宮崎学園短期大学学長の山下恵子先生をお迎えし、また新たに5名が就任されました。よろしくお願いいたします。

名誉会長	山下恵子（宮崎学園短期大学学長）
会長	廣池(旧姓川口)直美（平成6年3月英語科卒業）
副会長	高妻(旧姓長峰)弘子（平成5年3月保育科卒業） 森川(旧姓宮路)里奈（平成17年3月音楽科卒業、平成18年3月専攻科修了）
理事	川添愛花（令和3年3月保育科卒業、令和4年3月専攻科修了） 西村心沙（令和6年3月保育科卒業）
監事	河野真惠（令和3年3月保育科卒業、令和4年3月専攻科修了） 島地果歩（令和3年3月現代ビジネス科卒業）
会計	壺岐(旧姓大森)路子（平成14年3月国文科卒業）

就任にあたって

平成5年3月保育科卒業
高妻(旧姓長峰)弘子

春

の足音があちらこちらで弾み、期待に満ち溢れた季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和7年度よりしのぶ会役員副会長に就任いたしました高妻弘子でございます。身に余る大役に身を引き締め、役員のみなさんにご教示いただきながら一年が経とうとしています。これまで築いてこられたよさを引き継ぎつつ新たな試みも取り入れ、活動的な組織運営ができるよう微力ながら務めてまいりたいと思います。

しのぶ会活動は会員一人ひとりのアイデアや望みにより内容が実現化していきます。ご意見、ご要望など遠慮なくお知らせいただき、全会員でしのぶ会を盛り上げていけたらと考えております。皆様のお力添えとご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成17年3月音楽科卒業、平成18年3月専攻科修了
森川(旧姓宮路)里奈

こ

のたび、しのぶ会役員を拝命いたしました。微力ではありますが、会員の皆さまにとって、しのぶ会をより身近に感じていただけるよう努めてまいります。世代を超えたつながりを大切に、交流や情報発信を通して、同窓生同士が気軽に関われる場を広げていきたいと考えています。ま

た、宮崎学園のさらなる飛躍を支える一員として、母校との絆を深め、誇りをもって活動に取り組んでまいります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

令和6年3月保育科卒業
西村 心沙

令

和7年4月よりしのぶ会の理事を務めることになりました、西村心沙と申します。令和6年に宮崎学園短期大学保育科を卒業し、その後は附属園の清武みどり幼稚園に保育教諭として就職させていただきました。今年で2年目になりました。以前は清武みどり幼稚園の上司がしのぶ会の理事をしており、その上司からお話を頂きました。母校に何か恩返しができるかと思い、今回しのぶ会の理事を引き受けさせていただきました。まだまだ社会経験が少なく、しのぶ会の皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、母校に貢献できるよう理事を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年3月保育科卒業、令和4年3月専攻科修了
河野 真恵

今

年度より、しのぶ会の役員を務めさせていただきますことになりました。私は短大時代の友人と卒業後も変わらず交流があり、当時の思い出や今の仕事、悩みなどを話せる時間を大切にしています。

そんなつながりを、もっと多くの卒業生同士でも感じられる場があったら素敵だなと思っています。しのぶ会は、母校とご縁を大切にしながら、人と人がゆるやかにつながれる会だと思います。私は得意な情報発信を通して、活動内容を分かりやすく伝え、気軽に関われるきっかけづくりに力を入れていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成14年3月国文科卒業
壺岐(旧姓大森) 路子

令

和7年度よりしのぶ会役員に就任いたしました、壺岐路子と申します。平成14年に国文科を卒業し、現在は、宮崎学園短期大学で事務職員として勤務しております。学生時代を過ごした学び舎で今は職員として働けることにご縁を感じています。学生時代と今も変わらず立ち続けているイチヨウの木を愛でながら、季節を感じ、賑やかな学生の声に元気を貰って日々業務にあたっております。変わりゆく時代の変化に戸惑いながら、役員として母校に貢献できるよう頑張っていきますので何卒よろしくお願い申し上げます。



卒業生からの近況報告

花屋人生をこれからも

平成10年3月音楽科卒業
黒木 直子

宮 崎女子高校音楽科から短大まで、充実した環境の中で、たくさん悩み葛藤しながらも楽しく学ばせていただきました。



当時は中学校教諭をめざしていましたが、免許取得と採用試験勉強に励みました。免許は取得できましたが、採用試験は二度で諦めました。

その後、老舗ビジネスホテルに就職できました。おかげさまで、宮崎学園で学んだ礼法を基礎に、ビジネスマナーはしっかり実践することができていたと思います。

二十代最後の年に思い立って転職を試み、入社した会社が花の仲卸業で、今に至る花屋人生の始まりでした。

当時おもに担当していた業務は、葬祭場のホールで遺影が置かれている祭壇に生花を飾るお仕事でした。それまで知らなかったお仕事であるという好奇心と、未知の技術を習得したいという負けん気のようなものが、入社初期のころの何度もくじけそうになった時を支えていた気がします。

時には特殊な祭壇制作に携わせていただく機会もあり、口蹄疫終息宣言式典と献花台の生花祭壇制作は、県民の一人としても節目

のお仕事でした。

今更ですが、花屋って人生の節目にとっても関わらせていただいているなど重責を感じます。お葬式・結婚式・誕生日・退職の日・結婚記念日などなど……。

人生最後のシーンを花で飾るお仕事から離れて、小売店勤務になってから思っていたことが、たとえば配達の商品も、贈る方と受け取る方の節目の何かの日なのだということです。

それは、令和7年7月に清武総合支所近くに開業した自分の店でお受けするご注文品でも同じことです。

過去に元請先の職員さんから「たかが業者の花屋ごとき……」と言われたことがあります。たかが花屋されど花屋と思っています。ご用命があれば、大切な節目の日に花を添えるお役目、謹んで担わせていただきます、という気持ちです。

ほかにも、つらかったことはたくさんありましたが、これまで続けてこられたのは、花・植物のエネルギーの効果だと思っています。

過去の日常業務の中でも、生け込みの現場で、朝から何だか憂鬱だった日も、制作作業が終わるころには憂鬱は無くなっていたりすることはしょっちゅうでした。

小さなアレンジメント体験などで、少しでも似たような感覚を多くの方に実感してもらえたらと考えています。

また、アレンジメントや花束を作ることも、何らかの「表現する仕事」であるということが二十年続けてこられた要因の二つ目だと思っています。

少々大げさかもしれませんが、私にとってかつては音楽が表現媒体であったところが、今

は花がそれになったということだと思っています。

かといって、花屋としてはお客様のご注文のご要望にそった商品作りをすることが大前提です。

今の仕事のおかげで、いろんな方々つながりができました。地域の方々・地域の方からのご紹介でつながった方々。いつも本当にありがとうございます。

お世話になっている方々の中で、かつて「寮」という同じ屋根の下で共に過ごした友人とも偶然再会できました。

また、女短卒業生ではありませんが、令和6年に高校時代の同級生が亡くなりました。卒業以来の再会がお通夜になってしまい、思うことは多々ありましたが、「大人になった彼女と会って、懐かしい話などをしたかったな」という気持ちも起こりました。

相手の状況にもよりますが、会いたいと思った人とは、思い立ったらできるだけ会っておくほうがいいのかもしいかなと思いました。

そこからまた新たな展開が起こるかもしれません。

年女の一年があつという間に終わり、令和8年に入りました。時は更に早く過ぎる感覚になり、どんどん移り変わっていくのでしょうか。是非とも、うまく駆けていきたいと思うところです。



絵本専門士としての活動を支えるもの

平成14年3月国文科卒業
宮崎学園短期大学現代ビジネス科非常勤講師
佐藤(旧姓橋口)由紀枝
(絵本専門士/図書館司書)

私

が短大を卒業したのは24年前。その後、現

代ビジネス科の非常勤講師として短大に戻ってき

てからは14年が経ちました。

この短大で自分が学んできたよりも何倍もの時間を過ごし、たくさんの学生と出会い、学びを共にしてきました。ここ数年は、社会へ出た学生との思いがけない再会の機会も増え、時の流れを実感しています。

短大を卒業後、私は証券会社へ就職しました。窓口業務3年、支店長秘書を2年経験した後、短大で取得した司書資格を生かし宮崎県立図書館の非常勤職員として、図書館司書のキャリアをスタートさせました。

最初の1年は、仕事を覚えることで精いっぱいでしたが、全体が見えるようになってくると、短大での学びが実際の業務にどう関連しているのかがわかるようになり、図書館のことについて更に学びたいという意欲が湧いてきました。

そして司書になって5年目の冬、短大から非常勤講師のお誘いをいただき、図書館学を教えるという機会をいただきました。

教職課程をとっていなかった私は、人に教えるということについて学んだことがありませ



んでした。しかし、図書館での実務経験から得たものを生かしながら、「自分が学生だったら、こんな授業なら楽しいんじゃないか」という感覚を大事にして、授業づくりをはじめました。

やがて短大での非常勤講師と、宮崎県立図書館でのカウンター勤務という2足の草鞋を履いていた私に、大きな転機が訪れます。

それは、“子どもを産み育てる”という経験でした。私はそれまで小さな子ども、特に赤ちゃんと関わることなどほとんどありませんでした。作業としてのお世話の方法は、色々と調べながら周りのサポートを受けて、なんとかこなすことができたのですが、子どもへの声掛けやコミュニケーションの取り方に苦戦していました。

そんな私を助けてくれたのが、絵本との出会でした。読み聞かせをすれば、生の声を子どもに届けることができ、子どもとのやり取りに使える語彙もそこから学べ、しかもお互いに楽しむこともできる。コミュニケーションツールとしての絵本の可能性や有用性、絵本そのものの持つ面白さや奥深さを知りました。

その経験から、深く絵本のことを学び、広く伝えていきたいと思い、絵本専門士の資格取得を目指しました。



絵本専門士とは、独立行政法人国立青少年教育振興機構が認定する資格で、年間の受講定員70名に対して1,000名を超える応募があるという狭き門。そして、年に5回東京で講座を受け、一定以上の評価を得てはじめて認定されるというものです。

倍率の高さや課題の量だけでなく、幼子を置いて学びに行くのは、色々な困難がありましたが、家族の協力もあり、挑戦1年目で資格を取得することができました。

それから絵本専門士としての活動もスタートさせようと思っていた矢先のこと。コロナ禍になり、対面での活動がストップするという事態になりました。

短大での講義もオンラインに切り替わり、いかに対面と変わらない学びを継続させるか、オンラインならではのメリットをどう生かしていくのかを模索していく日々が始まりました。

そんな中、読み聞かせボランティアとしての小学校での活動も休止を余儀なくされます。しかし、それは「対面での活動」の休止でしかないのだという考えのもと、小学校の教室に入ることができない期間も、絵本の紹介文などを配布したり、オンラインで読み聞かせを配信したり、できることを続けていきました。

コロナ禍を経て、読み聞かせの時間が縮小されたり廃止になった学校も多くなったりした中、私の子どもが通っている小学校では途切れることなく活動を続けることができ、新たに中学校でも読み聞かせをさせていただけるようになりました。

ここ数年は絵本専門士として、図書館や学校、幼稚園、その他イベントなどでの絵本の読み語りや、講演などを行う機会も増えてきま

した。

絵本作家の先生などをお招きしてのイベントを企画したり、音楽や手話を取り入れたりするなどして、誰もが一緒に楽しめるバリアフリーなおはなし会を目指した活動も行っています。

また、宮崎本大賞実行委員や、宮崎県読書活動推進委員としても活動しており、宮崎県の読書啓発PR動画にも出演しています。

絵本とは直接関係ないように見える活動もありますが、絵本専門士は文部科学省の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の中にも記載があり、広く子どもの読書活動推進のために活用が期待されている資格でもあります。

絵本を通しての親子のコミュニケーションの可能性を多くの人に知って欲しいという思いが出発点だった絵本専門士としての活動ですが、図書館や短大での学びなど、これまでに培ってきたことも生かしながら、誰もがそれぞれの形で絵本や本を楽しめる社会になるよう、短大の非常勤講師として、図書館司書として、親として、様々な支えを力に活動を続けていきたいと思っています。



「卒業生からの近況報告」の原稿を募集!!

卒

業してから現在まで様々な経験をされてご活躍されている卒業生の皆様、ご自身の近況を報告してみませんか。経験談・失敗談・学生時代の思い出等々、なんでも構いません。是非あなたのお話をお聞かせください。同窓会しのぶ会では随時募集しております。

卒業年・学科・名前(旧姓も)・連絡先を添えて下記までご送付ください。

内容を確認の上、「卒業生からの近況報告」に掲載させていただきます。

●投稿要領

題名:自由

文字数:1000字から2000字程度

近影:顔写真(※必須)

その他:仕事中の写真や思い出の写真など

●送付先

〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

宮崎学園短期大学 同窓会しのぶ会事務局

E-mail: soumu@mgjc.ac.jp



同窓会から

また来年も会おうね

平成16年3月保育科Bクラス卒業
代表 青木(旧姓青井)美香

今

年も矢口先生を招いて、令和7年8月10日に集まりました。ほぼ毎年こうやって集まりますが、今年も矢口先生は変わらずお元気で参加してくださいました。今回は総勢11名が参加しました。恒例の矢口先生の懐かしの授業からスタートです。お題は「一〇一〇」(四字熟語)について。「懐かしい〜」「ボールペン忘れた〜」「色も書くんだっけ?」と、お店のお料理もそっちのけで、皆一斉に紙に向かいます。課題に取り組みながらもおしゃべりは止まりません。いつの間にか話題は子どもの話、体調や仕事のこと、旦那の悪口まで(笑)。そして最後は結局、短大時代の話になります。毎回同じ話をするのに、みんなお腹を抱えて笑います。なんで昔の思い出話ってこんなに盛り上がるのか不思議でなりません。とにかくみんな気持ちはすっかり学生気分に戻って、時間を忘れておしゃべりが続きました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、終了時間が近づいてくると、「あ〜また飲もうねー!!」「来年は〇〇ちゃんも来るといいがね〜」と来年の約束もしっかり交わしました。20年以上の時を経ても、こうやって私たちを繋いでくれている学生時代に改めて感謝です。矢口先生にも来年もお元気で参

加していただきたいです。

また、こういった機会を後押しして下さる、しのぶ会にも本当に感謝いたします。



同窓会(クラス会)開催を 援助します

同

窓会しのぶ会では同窓会(クラス会)への援助を行っております。卒業生の皆様、恩師や級友に会って懐かしい学生時代の思い出を語り合ってみませんか。援助はクラスごと年1回、援助金額は1万円です。参加者10名以上、クラス会の領収書(2万円以上)、写真(参加者全員)、感想文(400字程度)、住所録(参加者全員)を添えて、しのぶ会事務局までお申し込みください。クラス会援助金申請において、お寄せいただいた感想文、写真につきましては、毎年発行しております「忍ヶ丘」の【同窓会から】のコーナーに掲載させていただきますのでご理解ください。

お知らせ

ALUPA (アルパ) の登録についてのお願い

令和6年度の卒業生から運用を開始しました。

卒業後も同窓生や先生と繋がれるコミュニティツールです。(※画像はイメージです)



登録して
みんなと
繋がりましょう



卒業生が短大や同窓生の「いま」を知り、安心できる仲間とのコミュニティ形成や学びの機会等を提供します。卒業生からの意見や情報を収集するアンケート機能など今後も様々な機能が追加される予定です。なお、平成30年以降の卒業生を対象に登録を開始しています。

『忍ヶ丘』の発送について

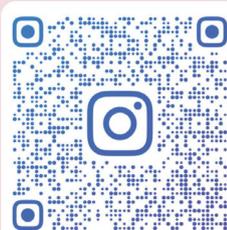
毎年3月に本誌『忍ヶ丘』をお送りいたしておりますが、不要な方は、末頁の連絡カード・電話・FAX等でお知らせください。

しのぶ会連絡先

〒889-1605
宮崎市清武町加納丙1415番地
宮崎学園短期大学 同窓会しのぶ会事務局

TEL 0985(85)0146
FAX 0985(85)0101

しのぶ会
Instagramを
開設しました！



@MGJC_SHINOBU

しのぶ会

宮崎学園
短期大学
しのぶ会

各種証明書の発行は「証明書発行サービス」をご利用ください

「証明書発行サービス」では、必要な証明書の発行を本学のホームページから申請し、決済や受取方法を選べます。

■発行の流れ

- ①スマートフォンやパソコンで、本学のホームページにアクセスし新規登録手続きを行う
- ②登録完了後、「証明書発行サービス」サイトにログインし、証明書の発行方法を選択する



- 発行手数料の決済方法の種類

クレジットカード(オンライン決済) コンビニ現金払い(セブン-イレブン他) PayPay(オンライン決済)

- 卒業年度による証明書の発行方法の違い

平成30(2018)年度卒業以前

郵送 窓口受取

平成30(2018)年度卒業以降

郵送 窓口受取 コンビニ オンライン(PDF)

郵送 本学から証明書を郵送(送料別途)

窓口受取 本学の窓口で証明書を受取

コンビニ 全国のコンビニ(セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン)の各店舗内に設置されているマルチコピー機を利用して証明書を受取 ※別途、コンビニマルチコピー機利用の印刷代が必要

オンライン(PDF) 証明書をPDFデータでシステムから直接、提出先(就職先など)に送付

■よくある質問

Q 申請後に何の連絡も来ないのですが。

A 利用申請結果のお知らせメールが登録メールアドレスに届きます。迷惑メールフォルダに振り分けられていませんか。証明書発行サービスnoreply@certcvts.ntt-west.co.jpからメールが届きますので、受信できるよう設定をお願いします。利用申請結果を知らせるメールは、受信までに数日かかる場合もあります。1週間以上たってもメールが届かない場合は証明係までお問い合わせください。

Q 申請したい証明書を間違えてしまいました。

A 証明書発行手数料の支払い前であれば、そのまま支払わずに新たに申請してください。お支払い後の返金はできませんのでご注意ください。

Q 短大窓口で証明書を受け取りたいのですが、選択項目が見当たりません。

A ログイン後に表示される「証明書を発行」の「郵送」を選択し、送付先カテゴリをクリックすると「大学担当窓口での受取り」が表示されますので、そちらを選択してください。

Q 卒業後に結婚して姓が変わりました。変更後の名前で証明書を発行してほしい。

A 改姓名での証明書発行はできません。卒業時の名前で発行となります。

証明書の申請および発行方法などの詳細についてはこちらから



<https://www.mgjc.ac.jp/graduate/certificate/>

問い合わせ先

【支払い方法やコンビニエンスストアでの操作方法、その他システム全体】

証明書発行サービスコールセンター TEL 082-207-4262(平日9:00~17:00)

【証明書の内容】 宮崎学園短期大学 証明書係

TEL:0985-85-0146(平日8:30~17:15) E-mail:syoumei@mgjc.ac.jp

異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのお会運営の目的
以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には、ご面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※点線にそって切りとり、ご使用ください。

異動通知連絡カード

※どちらか○で囲む 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年 昭和・平成 令和	年 組
	学科	科

卒年 昭和・平成・令和	年	科 組	(不明者%)
フリガナ	姓	旧姓	(名)
氏名	()	()	()
〒			
現住所			
	市外局番	市内局番	番号
	()	()	
勤務先			
	市外局番	市内局番	番号
	()	()	
	注意 。宮崎県内在住者は県名を省略 。自管の方は社名・店名を記入 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入		
確認事項	同窓会しのお会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない		

異動通知連絡カード

※どちらか○で囲む 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年 昭和・平成 令和	年 組
	学科	科

卒年 昭和・平成・令和	年	科 組	(不明者%)
フリガナ	姓	旧姓	(名)
氏名	()	()	()
〒			
現住所			
	市外局番	市内局番	番号
	()	()	
勤務先			
	市外局番	市内局番	番号
	()	()	
	注意 。宮崎県内在住者は県名を省略 。自管の方は社名・店名を記入 。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入		
確認事項	同窓会しのお会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない		

切手を
はって
ください

郵便番号

889-1605

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄

切手を
はって
ください

郵便番号

889-1605

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

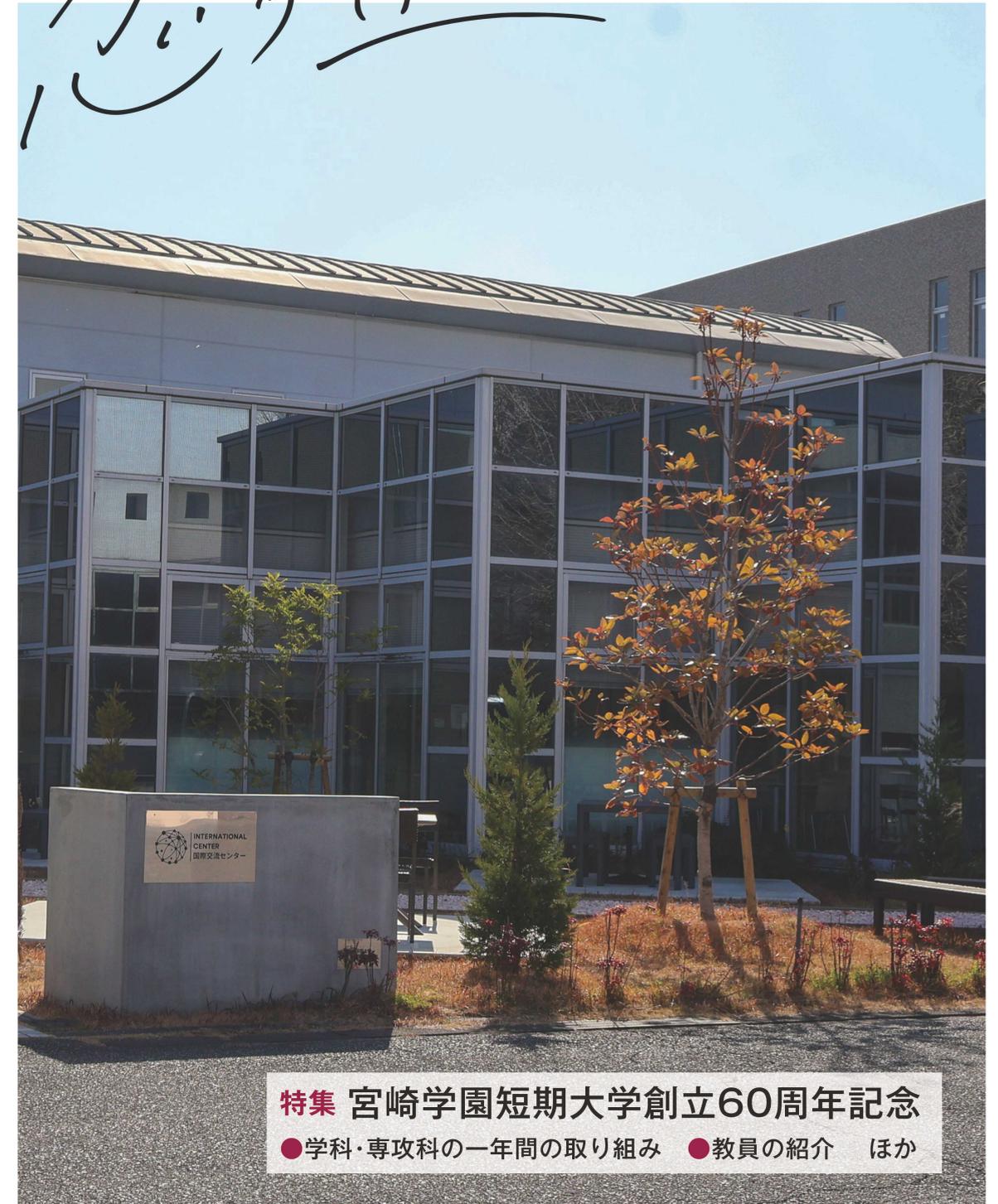
宮崎学園短期大学同窓会
しのぶ会 行

通信欄

忍ヶ丘



宮崎学園短期大学
Miyazaki Gakuen Junior College



特集 宮崎学園短期大学創立60周年記念

●学科・専攻科の一年間の取り組み ●教員の紹介 ほか

- 1 学長所感
新たな一歩 学長 山下 恵子
- 2 特集 **宮崎学園短期大学創立60周年記念**
- 6 保育科の一年間の取り組み
- 10 現代ビジネス科の一年間の取り組み
- 14 専攻科(福祉専攻)の一年間の取り組み
- 18 研究室レポート
- 22 新教職員紹介
- 24 幼児教育・保育センター主催 2025年度公開講座
- 25 こども音楽教育センターの活動
- 26 保健管理センター
- 27 2025年度 オープンキャンパス報告
- 28 宮崎学園図書館の活動
- 29 令和7(2025)年度 就職状況中間報告
- 30 **しのぶ会だより**
- 39 お知らせ



表紙の紹介 国際交流センター

宮崎学園短期大学と宮崎国際大学の、学生や教職員が集う交流の場として親しまれています。授業の合間に立ち寄り、友人と何気ない話をしたりと、さまざまな時間がこの場所で積み重ねられてきました。卒業生の皆さまの中にも、この建物を見ると、当時のことを思い出す方がいらっしゃるのではないのでしょうか。これからも、たくさんの方が集い、あたたかな時間を過ごせる場所であり続けてほしいと思います。

宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学校歌

作詞 狩野 満 / 作曲 石田 良男

一、美しや

霧島山を見はるかし
風わたる忍ヶ丘に

学舎立てり

われらが母校

集ひきてけふこそ学べ

若きわれらの夢ははるけし

三、讃へずや

学の自由を旗として
新しきあすをめざすと

学舎立てり

われらが母校

よき友に会ひて語らん

若きわれらの花は友垣

二、学ばずや

清武川の水光り
古き日の歴史のあとに

学舎立てり

われらが母校

人らしき人にあるべく

若きわれらの道はけはしき

四、ゆかしきや

白雲遠く消ゆる果て
南国の潮騒ききて

学舎立てり

われらが母校

時うつり別れゆくとも

若きわれらの胸うたはむ

あわれらが母校
われらが母校

QRコードを
スマホで読み取ると
メロディーが
流れます。



忍ヶ丘 第18号

【編集委員】 しのぶ会事務局

山田 秀人 河野 美香子 桑迫 信子
伊東 朋子 高山 和歌菜 千原 大幸

【発行日】 令和8年3月19日

【発行所】 宮崎学園短期大学

宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415 TEL.(0985)85-0146

【印刷所】 株式会社 宮崎南印刷